

セメント製品の放射能濃度測定結果について

弊社横瀬工場、岩手工場にて生産・出荷しておりますセメント製品につきましては、当面の間、定期的に放射能濃度測定を実施し、その結果をお知らせすることとしておりますが、今般2月度の測定結果が判明しましたので以下のとおりお知らせいたします。

いずれも、2011年6月16日に国土交通省が発表した、原子力災害対策本部通知「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」（以下「通知」）の内容を満足するものであることが確認できましたので、お客様におかれましては、引続き弊社セメント製品を安心してご利用頂きます様よろしくお願い申し上げます。

○測定結果（横瀬工場、岩手工場）

工場	セメント	採取月	放射能濃度(Bq/kg)					
			セシウム-134			セシウム-137		
横瀬	普通セメント	2月	不検出	6.0	未満	不検出	4.6	未満
	高炉セメント	2月	不検出	5.6	未満	不検出	4.6	未満
	早強セメント	2月	不検出	5.2	未満	不検出	5.6	未満
岩手	普通セメント	2月	不検出	5.0	未満	不検出	5.4	未満
	高炉セメント	2月	不検出	5.3	未満	不検出	5.2	未満
	早強セメント	2月	不検出	5.2	未満	不検出	4.9	未満

注1) 測定機関は、(株)KANSO テクノスです。

注2) 不検出の場合は検出下限値濃度を明記し、この数値未満と表現しています。

また、*九州工場、宇部セメント工場、伊佐セメント工場にて生産・出荷しておりますセメント製品につきましても、2012年1月30日の放射能濃度測定結果報告でお知らせしましたとおり、「通知」の内容を満足するものであることを確認しておりますので、お客様におかれましては、安心してご利用頂きます様よろしくお願い申し上げます。

*2024年4月1日より苅田第二地区となった苅田セメント工場を含みます。

以上